

グローバルに活躍したい  
官民協働の推進を  
育児と仕事を両立したい  
男性育業の推進を  
新たなビジネスに挑戦したい  
もっと魅力あふれる街へ  
地元をもっと魅力的にしたい  
東京産ブランドを盛り上げたい  
スポーツを楽しみたい  
再エネの実装を  
いさいさと自己実現できるように  
若者のチャレンジを応援  
中小企業にもっと支援を  
色々な生き方があっていい  
ナイトライフを楽しみたい  
国際競争力の強化を  
DXを進め「手取り時間」を増やす  
もっと柔軟に働きたい  
世界一安全で安心な都市へ  
芸術や文化を世界に発信したい  
GXやDXへの投資を  
女性が活躍できる社会へ  
次世代モビリティの実現に期待  
地域コミュニティの活性化を  
キャリア形成のサポートを  
災害に万全の備えを  
自然と調和したまちづくりを  
ビートアイランド対策の推進を  
子供を安心して育てたい  
もっとチルドレンファーストへ  
住み慣れた地域に必要な医療を  
観光資源の開発を  
リスクリングしたい  
豊かなシニアライフを  
外国語を身に付けたい

# 2050東京戦略

～ 東京 もっとよくなる ～

令和7(2025)年3月  
東京都

# 東京戦略2050

「東京 もっとよくなる」

- 気候危機の深刻化、人口減少、生成AI等テクノロジーの爆発的進化や構造的課題の先鋭化など、社会は予想を超えるスピードで想定し得なかった変化が続けている。
- こうした変化を先読みし、チャンスに変えることで成長を加速させていかなければならない

## ◆ 都政を取り巻く情勢の変化

### 社会経済情勢の変化

- 世界の都市総合力ランキング  
2024では、東京は、総合スコアで48都市中最大の伸び
- 2024年度の設備投資計画では、製造業と非製造業の両方で高い伸び
- 2024年の賃上げ率は過去最高水準
- 次代を担う若い力の台頭

### 人口減少・少子高齢化

- 急速に進む少子高齢化。東京も例外ではなく、将来の社会経済への影響は深刻

### AI等テクノロジーの爆発的進化

- テクノロジーが驚異的なスピードで進化

### 気候危機の深刻化

- 気温上昇、異常気象の頻発化、気候変動による生態系の変化

### 構造的課題の先鋭化

- 世界的なサプライチェーンの混乱により、食料・エネルギー自給率など構造的課題が先鋭化

- 令和7年3月、都政運営の新たな羅針盤となる「2050東京戦略」を策定
- 2050年代に東京が目指す姿として、新たな「ビジョン」を描き、バックキャストの視点で「ビジョン」を実現するための2035年に向けた「戦略」を定める
- 戦略を着実に実行することにより、「3つのシティ」が進化し、「成長」と「成熟」が両立した「世界で一番の都市・東京」を実現していく

## ◆「2050東京戦略」の全体像

2050年代の東京の姿  
「**ビジョン**」

2035年に向けて取り組む  
28の「**戦略**」

政策の実効性を高める  
296の「**政策目標**」



### 「3つのシティ」をさらに進化

#### ダイバーシティ

誰もが将来の夢や希望を叶え  
もっと一人ひとりが輝く東京へ

#### スマートシティ

東京のポテンシャルを磨き上げ  
もっと活力溢れる東京へ

#### セーフシティ

強靱で持続可能な都市を創造し  
もっと安全・安心な東京へ

## ダイバーシティ

- 戦略01 子供 (Children)
- 戦略02 子育て
- 戦略03 教育
- 戦略04 若者
- 戦略05 女性活躍
- 戦略06 働き方
- 戦略07 長寿 (Chōju)
- 戦略08 コミュニティ (Community)
- 戦略09 共生社会

## スマートシティ

- 戦略10 スタートアップ
- 戦略11 デジタル
- 戦略12 国際金融
- 戦略13 産業
- 戦略14 観光
- 戦略15 文化・エンタメ
- 戦略16 スポーツ
- 戦略17 まちづくり・住まい
- 戦略18 インフラ・交通
- 戦略19 緑と水

## セーフシティ

- 戦略20 ゼロエミッション
- 戦略21 都市の強靱化
- 戦略22 防災
- 戦略23 まちの安全・安心
- 戦略24 医療

## 分野横断

- 戦略25 多摩・島しょ
- 戦略26 構造改革
- 戦略27 オールジャパン
- 戦略28 未来共創

## 04 若者

2050  
年代の  
ビジョン

### 将来を担う若者が希望に満ち溢れ、描いた夢を叶えられる

#### 2035年に向けた政策の方向性

- 若者の声を積極的に活かし、若者とともに社会を変えていく
- 若者の主体的なチャレンジを応援し、東京の活力を高める

#### 2035年の政策目標

- 都支援による留学生数  
累計 **26,000人** (2023年 2,799人)
- 「自分の行動で社会を変えられる」と思う若者の割合  
**40%以上** (2024年 29.4%)

#### 主な施策

##### ■ 若者のチャレンジを応援

- より多くの若者が「海外留学の最初の一歩」を踏み出すきっかけづくりをサポートする「都版海外留学制度(大学生等向け)」の創設
- 博士人材を政策連携団体等が活用する「博士人材活用プロジェクト」
- 起業等に関心のある学生が起業家等と触れ合い主体的な活動をサポートするプロジェクト「TIB JAM」を展開



より多くの若者が「海外留学の最初の一步」を踏み出せるよう、都独自の海外留学支援制度を創設  
令和8年度の派遣開始に向け、7年度中に募集を実施予定

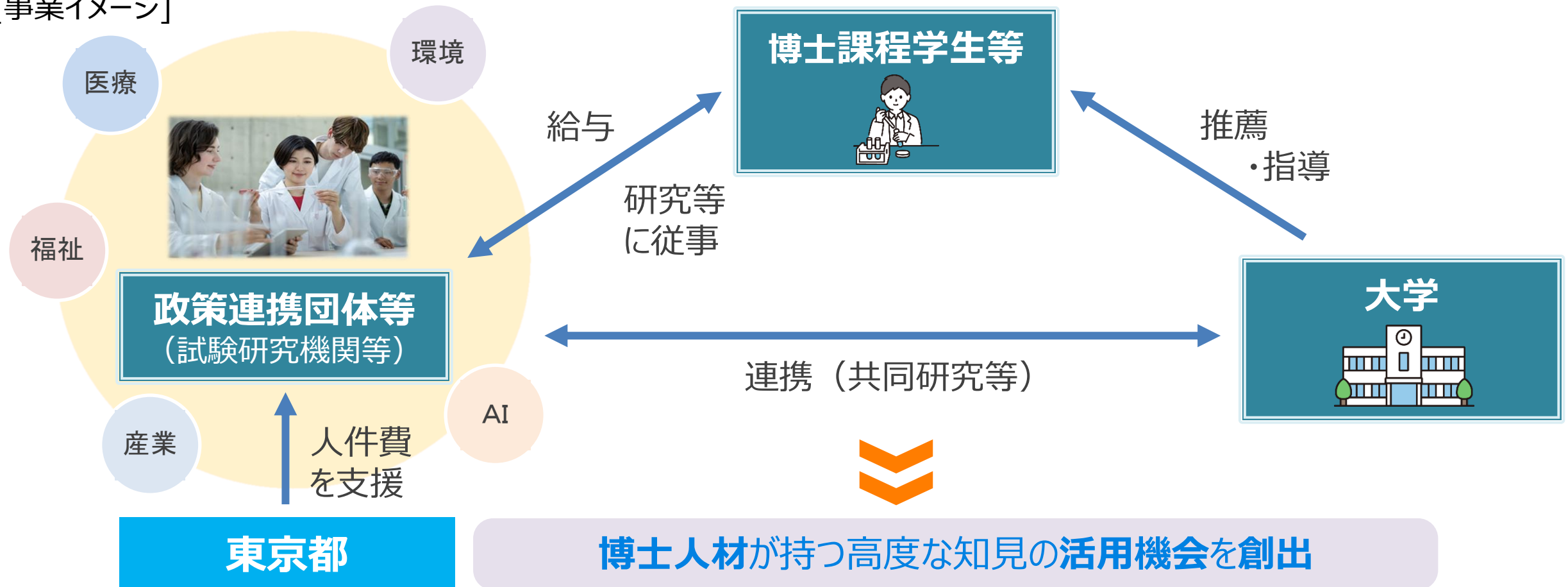
|     | 短期コース<br>(夏休み等の長期休暇の活用を想定)                                                                                                                             | 中長期コース<br>(学期単位や年単位を想定)               |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 対 象 | 主たる生計維持者が都内在住で本人が国内の大学等に在学中の者                                                                                                                          |                                       |
| 要件等 | <ul style="list-style-type: none"><li>・日本国籍を有すること</li><li>・所得制限なし</li><li>・本人（学生）が自ら留学計画を立てること（語学留学のみは対象外）</li><li>・国・他自治体・民間による留学支援との併給不可 等</li></ul> |                                       |
| 規 模 | 500名／年                                                                                                                                                 | 100名／年                                |
| 期 間 | 4週間～概ね3か月程度まで                                                                                                                                          | 概ね4か月～1か年 ※6か月以上を推奨                   |
| 支 援 | 最大90万円<br>(渡航費・授業料等)                                                                                                                                   | 最大135万円 (渡航費・授業料)<br>最大15万円／月 (現地活動費) |



# 「博士人材活用プロジェクト」の先行実施について

- 博士人材が社会の様々な分野で一層活躍するためには、企業と大学と学生が連携し、博士人材のキャリアパスを多様化することが必要
- 都は今年度から、政策連携団体等において、博士人材の活用を先行的に実施
- 博士課程在籍中の学生等に、教育や研究に資する実践的な場を提供  
(雇用契約の締結等により、学生等が安心して研究に取り組める環境を創出)

[事業イメージ]



10

スタートアップ

2050  
年代の  
ビジョン

## イノベーションが次々と生まれ世界の変革と成長を東京が牽引

### 2035年に向けた政策の方向性

- 挑戦者が生まれ、応援される機運を醸成
- スタートアップが次々と生まれ育つ環境に向けて、支援のエコシステムを深化

### 2035年の政策目標

- スタートアップ・エコシステムランキング  
世界 **3位** 以内 (2024年 10位)
- 大学発ベンチャーの増加数  
**2,000社/年** (2023年 約240社)

### 主な施策

#### ■ スタートアップが生まれ、育つフィールドを構築

- TIBにVC、アクセラレーター、大企業、大学、学生、行政等の様々な団体を集め、スタートアップに重点的な支援を提供



- VCや事業会社、大学等と協定を結び、民間のアイデア、ネットワーク、フィールドなどを最大限に生かした多彩なスタートアップ支援を展開
- 大学発スタートアップ創出を目指す大学の学内体制整備、大学間連携や研究シーズ事業化を支援



## 28 未来共創

2050  
年代の  
ビジョン

### 多様な主体との連携を深化させ、明るい未来が実現している

#### 2035年に向けた方向性

- 多様な主体との連携を強化し、複雑化・多様化する課題に対応する
- 世界の都市との連携により、持続可能な社会を実現
- 全ての政策を通じて持続可能な未来への軌跡を確立する

#### 大学との連携

##### ■ 大学の知見や新たな発想を都の政策へ結びつける

- 「大学との定例懇談会」を設置し、東京の課題解決に向けて意見交換
- 「大学研究者による事業提案制度」や「東京都と大学との共同事業」等を通じ、知見や発想を都政に活用



#### 持続可能な社会の実現

##### ■ 国内外の総力を結集した政策展開

- 都民、区市町村、企業、大学など多様な主体が一丸となり、未来に向けて取組を推進
- SusHi Tech Tokyoを活用した海外都市によるスタートアップとの交流・連携

# 東京都と大学との共同事業（政策企画局）

都事業との連携や効果的なメディアPRなど、都のリソースを最大限活用することで、研究内容の社会還元・実装を促進

## 研究の認知度の向上

### 順天堂大学×電気通信大学（R5）



デフリンピック等の関連イベントにおいて、AI手話翻訳ツールのデモンストレーション実施を後押し

### お茶の水女子大学×東京大学（R6）



ユーザーテストを実際に体験できるイベント「サイエンスパーク2025」を東京都と共催で実施

## 研究の実証フィールドの拡大

### 東京大学×東京藝術大学（R5）



都立高校の部活動とつなぎ、新素材を用いた音響部品の実証フィールドの拡大に寄与

### 慶應義塾大学×上智大学×順天堂大学（R6）



地域の「居場所」を提供する先進的な事業者等を紹介し、調査先の拡大に寄与

## 持続的な研究への寄与

### 順天堂大学×帝京大学（R2）



「大学研究者による事業提案制度」（財務局）にも採択され、東京都との連携を継続（R3～5）

### 東京科学大学×東京大学（R6）



カムカムキッズプロジェクト(咀嚼を促す給食提供と口の健康の勉強会)を新たな自治体へと展開中



# 大学研究者による事業提案制度（財務局）

東京に集積する知を、都政の喫緊の課題解決や「2050東京戦略」の実現に資する政策立案へと反映

## 帝京平成大学

小学生向け医薬品の適正使用に関する学習アプリ開発事業



## 東京科学大学

都民の「生きる」を最後まで支える、医療・介護職のACP実践力の育成



## 東京大学

ソフトシステムを通じた都市型サーキュラーエコノミーモデルの社会実装



## 東京大学

インクルーシブ保育の推進に向けた情報・教育的コンテンツの整備事業



## 提案制度について

最大3年間/4.9億円の予算措置を想定  
(例年4～5月に提案募集受付)



提案の詳細は都公式noteをご覧ください！



▲都公式note